目　　次

訳者まえがき …… i

序　　文 …… iii

ま　え　が　き …… iv

0 実行の抽象化 …… 1

1 プログラミング言語の役割 …… 7

2 状態およびその特徴づけ …… 10

3 意味の特徴づけ …… 16

4 プログラミング言語の意味の特徴づけ …… 26

5 二つの定理 …… 41

6 適切に停止する構造の設計について …… 46

7 ユークリッドのアルゴリズムの改訂 …… 51

8 いくつかの小さな問題の形式的処理 …… 58

9 制約を受ける非決定性について …… 84

10 “変数の有効範囲”という概念について …… 92

11 配列変数 …… 109

12 線形探索定理 …… 122

13　次の順列を求める問題 …… 124
14　オランダ国旗の問題 …… 128
15　逐次ファイルの更新 …… 135
16　併合問題の見直し …… 142
17　R. W. Hamming の問題 …… 150
18　パターン照合の問題 …… 156
19　二つの平方の和として数を書くこと …… 162
20　大きな数の最小素因数の問題 …… 165
21　最も孤立した村の問題 …… 172
22　最短の展張木の問題 …… 178
23　同値クラスを記録するためのRemのアルゴリズム …… 186
24　3 次元における凸包の問題 …… 195
25　有向グラフにおける極大強成分を求めること …… 223
26　説明書と実現について …… 234
27　いままでをふり返って …… 243